



平成28年5月30日  
九州地方整備局河川部  
熊本河川国道事務所

## 【熊本地震関連】

白川・緑川の堤防被害状況を踏まえ梅雨前に排水ポンプ車を事前配備します。

この度の熊本地震の影響で白川と緑川水系においては、多くの箇所では堤防の被災が発生しています。

このため、これからの梅雨や台風に備え緊急に対応できるよう九州管内の排水ポンプ車を熊本に事前配備します。

### 1. 事前配備場所

熊本市南区野田町 1-3-1 熊本河川国道事務所 緑川下流出張所

### 2. 事前配備する排水ポンプ車の規格

規格：排水能力毎分60m<sup>3</sup>級 1台

排水能力毎分30m<sup>3</sup>級 4台 合計5台

この他、熊本河川国道が保有している排水ポンプ車（排水能力毎分30m<sup>3</sup>級）1台と合わせ6台で洪水対応を行います。

### 3. 配備期間

平成28年5月31日～10月末（予定）まで

### 4. 操作訓練

事前配備完了後、熊本河川国道事務所では排水ポンプ車の操作訓練を実施する予定です。日時、場所等の具体内容は再度お知らせします。

## 記者発表に関する問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所

技術副所長 甲斐 浩幸

TEL 096-382-1111（内線204）

国土交通省 九州地方整備局 河川部河川管理課

課長 満崎 晴也

TEL 092-471-6331（内線3751）

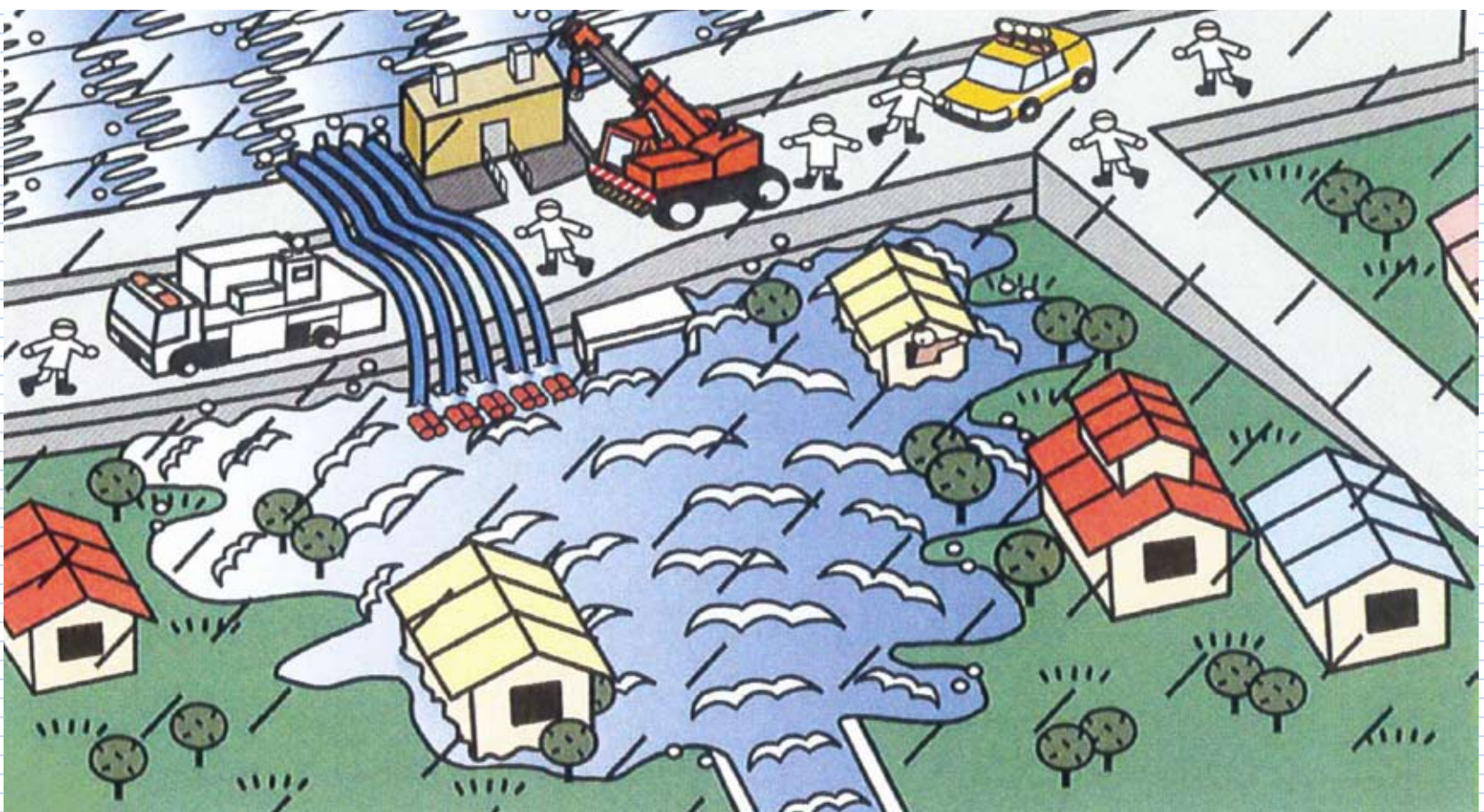
# 排水ポンプ車(30m<sup>3</sup>/min級 60m<sup>3</sup>/min級)

30  
m<sup>3</sup>/min級



内水被害に大きな威力を発揮します。

60  
m<sup>3</sup>/min級

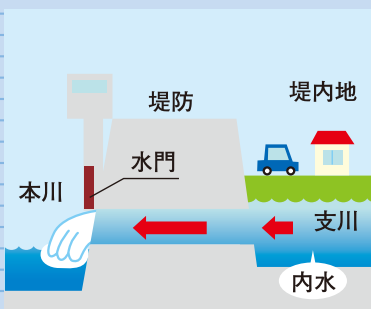


## 特徴

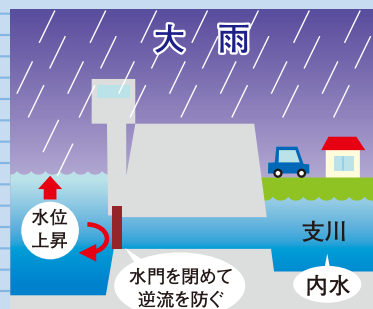
- 1秒間に30m<sup>3</sup>級はバケツ(10リットル)50杯分、60m<sup>3</sup>級は100杯分に相当する水を排水することができます。
- 通常は10mの高さまで水をくみ上げることができます。
- ポンプを2台を直列につなげることで、20mの高さまで水をくみ上げることができます。

## 内水被害とは?

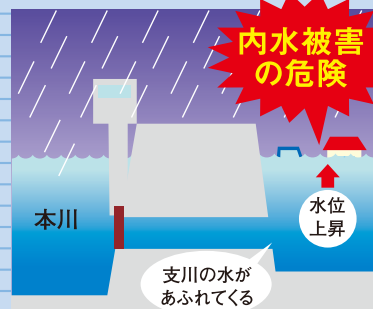
堤防で守られている家や農地などに水がたまり、被害が及ぶことを“内水被害”といいます。



普段は支川から本川へ流れ込む。



雨が降り、川の水位が上昇。本川から内水側への水の逆流を防ぐため水門を閉める。



支川の水が流れず、堤内地の水位が上昇する。



排水ポンプ車出動!  
内水被害を軽減。

# 鬼怒川 (小貝川) での排水ポンプ車の排水活動 (平成27年9月12~13日)



# 九州北部豪雨での排水ポンプ車の排水活動 (平成24年7月)



矢部川での  
排水活動

